

# 宮城県地方税滞納整理機構通信

# 納めLINE

平成29年度  
第4号

納めてください(標準語)  
納めらいん(宮城の方言)  
納めLINE(通信紙名)

## 機構活動状況

平成29年11月末現在

11月、12月は「宮城一斉滞納整理強化月間」です。機構でも日々、財産調査や搜索など滞納処分に取り組んでおります。

徴収状況(平成29年11月30日現在)			
	平成29年度	平成28年度	前年度 同期比
引受件数(件)	806	903	▲97
引受税額(千円)	675,811	726,805	▲50,994
徴収済額(千円)	252,252	307,943	▲55,691
徴収率(%)	37.33	42.37	▲5.04

さて、平成29年11月末現在の徴収状況についてご報告します。徴収率については、37.33%であり、前年度同期よりも低い数値となっております。一方で、差押えの件数、差押えによる徴収金は前年度同期を上回っています。今年も残りわずかとなり

ました。今後も徹底した財産調査・滞納処分により、残った案件の滞納整理を続けていきます。

## 4市町 合同公売会 開催結果

平成29年12月2日(土)に岩沼市勤労者活動センターを会場に、4市町合同公売会が開催されました。今回の公売会は、4市町(名取市、岩沼市、亘理町、山元町)と県仙台南県税事務所が企画し、宮城一斉滞納整理強化月間中の12月に開催された県内初の地域型合同公売会です。当日は天候に恵まれ、4市町以外にも多くの方が来場し、会場は賑わいました。公売会では出品された動産に見積額を設定し、買い取り希望額を入札する「入札方式」と、番号札を掲げて買い取り希望額を発声し、その場で額を競う「せり売り方式」の2種類で行われました。今回のせり売りでは、液晶カラーテレビ、バイクの2点が出品され、

価格の競り合いで盛り上がりました。

今回の公売会の最高落札額は、せり売りに出品された「液晶カラーテレビ」で7万1千円で落札いただきました。その他の動産も見積額の数倍の価格で落札された品もあり、落札価格の発表の際には会場に驚きの声があがりました。

来場された方々は、普段あまり経験されない「入札」や「せり売り」を楽しんでおり、次回も開催して欲しいという声をいただきました。



物品を確認する来場者

## 機構職員の声

私は平成26年度に採用されてから2年間徴収業務に従事してきました。当時は徴収担当職員が3名と少数で徴収業務を行ってまいりました。もともと人数が少なかったことと徴収以外の諸事務作業が多く、新採の私自身も日々の業務を覚えることに必死で中々差押え等の滞納処分まで手が回っていませんでした。そのため、納税相談一つするにしても調査不足の状態です。少額の分納誓約を結んでいたこともありました。そんな中、私に宮城県地方税滞納整理機構への出向の話が来たのが入庁して2年目の1月のことでした。当時の税務課長から別室に呼ばれ、「機構へ行かないか？」という

集計結果	
出品数(せり売り含む)	59品
合計落札数	53件
落札率	89.8%
買受代金総額	282,430円
来場者数	192人

話しに対して、当初は違う環境で仕事ができるというワクワク感が勝り即答で出向する決意をしました。

出向の日が近づくにつれて緊張感が増してきましたが、いざ機構での仕事が始まってみると同じグループには他の市町から出向してきた同期もいて、わからないことがあるとグループ全体で教え合い、調査して完納に向けて切磋琢磨していくような風通しの良い職場環境でした。

機構では未納の税金は基本一括納付であり、少額の納税誓約は結ぶことはなく、差押え可能な財産発見後は速やかに差押えや搜索等の滞納処分を執行しました。当初はこの機構のスタイルに少々厳しいのでは、と感じたこともありましたが、機構で従事していく中でそれが早期の完納に結びつき、滞納している方の為にものなることもあるのだと気付きました。

そのような環境で私自身も今まで学んできたことを活かしつつ、改めて自身の徴収に対する考え方を顧みることができました。

私にとつての宮城県地方税滞納整理機構は、市町村の垣根を越えて繋がり、の強さを実感させてくれた、私自身を成長させてくれる場所でした。機構に来て今年で2年目ですが、早いもので残り3ヶ月ほどになりました。残された時間で一つでも多く

の知識を派遣元に持ち帰れるように努めて参ります。



滞納者宅へ向かう徴税吏員達

### 実録！ 搜索レポート

滞納額1千万円を超える70歳代男性への搜索の記録である。

過去に1度滞納整理機構で担当しており、その際にも搜索を執行し、分納誓約を結んだが、度重なる不履行で解決困難とのことから再度、滞納整理機構で担当することとなった。

現年度分の税金は納めているが、過去の分が残っている状況で滞納額も高額であり、本人と直接、面と向かって話しをするために何度か自宅を訪問し納税折衝を行った。訪問した際、本人の妻もおり、妻も滞納の事実は知っていたため、同席しても

らった。支払う意思はあるが、夫婦でもどう解決するか考えが浮かばず迷っていたと洩らしたため、相談に乗りつつ、自分達で解決するのは難しいので息子など親族に相談してみようというところでその場では前向きな話しに落ち着いた。しかし、その後連絡は途絶え、納付もないことから納税意識がないものと判断し、搜索（踏み切る）こととなった。

当日は本人は自宅にはおらず、妻が在宅していたため、妻立ち会いのもと搜索を執行した。妻によると本人からは機構に連絡していたと聞いていたため、連絡がないことを告げると驚いた様子で、本人は商工会に相談に行く予定でいたとのことであった。

生活状況を聞き取ると、本人は高齢のため非正規社員としての勤務で収入が低く、妻は個人営業の手伝いをしていとのことと妻の収入を合わせても夫婦での収入が少なく、支出は医療費や借財の返済に追われるなど収支に余裕がないことが判明した。ここまで滞納した原因としては現在、息子が引き継いだ会社について、本人が経営していた時代に一時期中不振に陥り、税金まで手が回らず、現在まで先延ばしにしてしまったのが要因であった。息子など親族にはまだ相談していないようで、叱られることを恐れていたとのことであっ

た。債務の承継の問題などを説明し、収支の状況からもやはり息子など親族等に相談するのはやむをえないのではないかとということでもう一度夫婦間で話し合ってみるよう勧めた。2度目の機構移管であり、搜索は動産数点を差し押さえて終了した。

後日、本人から連絡があり、納税折衝を行った。夫婦で息子に相談し、応援すると話しをされたとのことと借入なども含め、今後の納付について検討しているとのことであった。今後も本人と折衝を重ね、解決への道筋をつけられるように取り組んでいきたい。

### ご意見・ご要望はこちらへ

宮城県地方税滞納整理機構  
（宮城県総務部地方税徴収対策室内）

〒980-8570  
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
TEL 022-211-6681  
FAX 022-211-2289  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/choutai/>

